

編集後記

人文地理学界においても発表媒体が多様化し、本誌が寄稿をいただくだけの意義を有しているのか、心もとない思いを常にもっている。幸いなことに、今回もボリューム、内容も豊かなものとしてお届けすることができた。発表媒体が多様化しているとはいえ、詳細な資料発掘にもとづく論考や研究動向の紹介、そして理論的な指向の強い、英語のみならず他言語で書かれた論文の翻訳の寄稿先として、なかなか代替の雑誌が見当たらないのかもしれない。ひとえに、本科研グループの旺盛な研究欲とその活字化へのパワーに感謝したい。

社会や地域への貢献が盛んに問われ、実践力の高いアクションリサーチが地理学でも唱導されている。しかし人文科学の大学における意義は、短期に社会に貢献するというのと同時に、良質で歴史的なスパンの長い、人類の知恵や営為が深く洞察されるような、あるいは過去の情報の発掘や後世に伝えてゆくといった、アカデミックな伝達を意識した研究が、逆に強く求められている。そうした研究営為を保証する媒体であり続けたいと思っている。

引き続き編集協力をいただいている四井恵介さんの(有)地域・研究アシスト事務所に大変お世話になった。いつものことながらお礼申し上げたい。PDFでの閲覧は、下記URLを参照していただきたい。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/ja/pub.html>

「空間・社会・地理思想」第14号編集代表者 水内俊雄

空間・社会・地理思想 第14号

発行日／2011年3月25日

編集／科学研究費基盤研究(B)「公共性とガバナンスからみた近・現代社会の空間編成に関する研究」

(研究代表者 高木彰彦)

編集代表者 水内俊雄

編集協力／(有)地域・研究アシスト事務所

<http://www.cr-assist.co.jp/>

発行／©高木彰彦

九州大学大学院人文科学研究院地理学講座

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

電話 & ファックス 092-642-4476

takagi@lit.kyushu-u.ac.jp

印刷／ホウユウ(株)

<http://www.for-you.co.jp/>
